



↑ リチャール・ミル
"RM018オマージュ・ア・ブシュロン"

ブシュロンとのコラボレーション・モデル。ゴドルン模様が付いた縦48.00mm×横39.39mmの18KWGケースに搭載されるのは、街車にダイヤモンドやオニキス、ジャスパーなどを詰め込んだ新開発のトゥールビヨン・ムーブメントで、それぞれの貴石/半貴石が1個ずつ、合計30種類のパターンが作られる。ムーブメントは手巻き式で、約48時間のパワー・リザーブをもつ。セットされ

シュワルツ・エチエンヌ "カーボン" →

かつてヴィーナス・クロノグラフを生み、1996年からバーゼルに参加しているSEは、今年カーボン・ダイアルの新型クロノグラフを出した。3カウンターで、3時位置の30分と6時位置の12時間の二つの積算計を8の字形のフレームで結び、その間にデイト窓を囲っている。ダイアル周辺には24時間別のインデックスがあり、赤い針で第2タイム・ゾーンを指し示す。43mm、50m防水のSSケースに自動巻きの28石、2万8800振動、パワー・リザーブ約44時間のムーブメントを積む。



← スピーク・マリン
"アンモナイト・フォッシル"

シンプルなか3針式のピカデリー・コレクションに、ワン・オブ・モデルのアンモナイト・フォッシルが加わった。ホワイトMOPの中に化石のアンモナイトを組み込んだスペシャル・ダイアルを装備するのが特徴。18KPGのクラウンを装備したケースはSS製/38mmで、オートマティック・ムーブメントを搭載する。価格は173.25万円で、11月の入荷予定。



↑ メートル・デュ・タン "チャプター1"

ロジェ・デュブイ、ピーター・スピーク・マリン、クリストフ・クラレという3人のマイスターによる新しい時計メーカーがメートル・デュ・タンで、その第1作目が複雑モデルのチャプター1。縦62.6mm×横45.9mmの18KRGケースの上下に取り付けられたローラー式のムーブメントフェイスとダイヤが特徴で、トゥールビヨン・ドライブの手巻き式ムーブメントは、モノプッシュ・クロノグラフ、レトログレード式デイト、同GMT機構を装備する。

↓ ヴァルカン "クリケットGMTエクストリーム"

150周年を記念したニューモデルが、ひとまわり大きな44mmケースを採用したGMTエクストリーム。ケースはブラックTIとSS、TIと18KPGの2種類で、10気圧防水機能とシースルー・ケースバックを装備する。搭載ムーブメントはデイトつきアラームのCal.V16マニュアルで、ブラック/シルバーあるいはシルバー/ブラックのダイアルが用意される。



↓ ヴァルカン "Cal.V20"

ヴァルカンがはじめてのアラーム・ムーブメントを発表してから61年目にあたる今年、初のオートマティック仕様を発表した。直径28.00mm×厚さ7.65mmで、23石、1万8000振動、パワー・リザーブ約42時間のスペックをもつ同ムーブメントは、基本的に現在生産されるV10マニュアルを発展させたもので、アラームの打音装置に変更を加えた上で、オートマティック・ローター機構が取り付けられた。V20搭載の新型モデルは今秋のデビューの予定。

